

長い距離を景色を眺めながらゆっくりと走るのが私の1番の楽しみだ。距離は長ければ長いほどいい。100km マラソンでは短すぎる。数日のマラニックでも短すぎる。自然と走り旅にのめりこんでいった。走ったところを線で引いて、日本地図の北端から南端までをつなぐのが長期的な夢となった。一人で連休を利用して何回かに分けて、大阪～鹿児島県佐多岬(一部故障でワープ)、山形～愛知を走ってきた。大会では東海道五十三次遠足ジャーニーラン、TRANS・YEZO ジャーニーラン、TRANS Ryukyu 沖縄一周ジャーニーラン、九州縦断走り旅・日本縦断試走会(北九州市～鹿児島県川内市区間に参加)等を走ってきた。走った軌跡は北海道えりも岬～山形県、宮崎県・鹿児島の一部を除いて日本列島が線でつながっている。しかし、細切れの線では何の意味も無いように思うようになり意欲が失せ、ここ数年単独でのジャーニーランは実施していない。細切れではなく一気に日本縦断したい思いが募っている。

定年退職後の単独日本縦断走り旅を前提として日本縦断走の本を読みあさったが宿泊状況が悲惨である。北海道で宿が無く寒さをしのぐため公衆トイレの和式の個室で便器に落ちないように注意しながら悪臭を我慢しつつ仮眠した例、バス停囲い内で仮眠時に地元住民から警察に通報された例等。近年、走友が無難に日本縦断を達成しているので、昨今の情報通信技術の発達により宿泊情報を容易に入手でき宿の確保は容易になっているのかもしれない。それにしても単独での日本縦断走は大変勇気がいる。また、単独走行不能症候群と自分で勝手に名前をつけているが、数年前から大会では走れるのに単独ではスイッチが入らず走りのにでかけたのに歩くことしかできず、ほぼ歩き通し、もしくは中断する状況が続いている。その意味でも単独ではなく大会としての日本縦断走を待ち望んでいた。海外には北米大陸横断、ヨーロッパ横断(縦断)などがあるのに、なぜ日本には日本縦断大会がないのか?日本は長期休暇が取りにくい環境にあるので大会を企画しても参加者が見込まれないためと思われる。自分には企画能力が無い。誰かが日本縦断走を呼びかけて欲しい。走友に「誰か日本縦断走を企画してくれないかな?」と話してきた。イベント主催者には「日本縦断走の企画予定は有りませんか?」と問診してきたが、参加希望者見が込まれない等の理由で否定的だった。森塚さんから日本縦断走り旅開催の呼びかけを頂いた時には小躍りして喜んだ。愛する日本を大好きな走り旅で縦断できる!! しかし残念ながら今回は参加を断念せざるをえない。せめて1ブロックを走りたい。

今回の第1回日本縦断走り旅開催により、第2回以降の開催が期待できる。また、今回限りの開催になるとしても本大会を参考にして新たなる呼びかけ人による日本縦断走の開催が大いに期待できる。その意味でも、日本縦断走呼びかけの先駆者として呼びかけ人にお礼を申し上げます。

以上